

実現したいアイデア 「リンククの走る街」

目的 「小田原市の観光対策」

解決すべき問題点

神奈川県小田原市には観光のシンボルとして小田原城がありますが、小田原市を訪れた観光客からは、その小田原城から小田原市内にある他の観光スポットへ行く観光ルートが無いとの意見が多く寄せられています。

また、一方では市内では放置自転車の処分問題があり、これに市の予算が多く使われています。

この二つの問題を解決するため、リンククが利用できると思います。

リンククの運営プラン

①リンククを使用するメリット

小田原市内の放置自転車をリンククとして転用できることと、もとは自転車なので自動車と違い、エコであり小田原市内に多い、一方通行の影響を受けにくく、特別な免許を必要としない点です。

※一連の流れは別紙①を見て下さい。

②リンククに使用する自転車

リンククに使用する自転車は小田原市が回収し管理している放置自転車を小田原市観光協会に買い取ってもらい、これをリンククに改装し、使用します。

※リンククのイメージ図は別紙②を見てください。

③リンククの運営者

リンククの運営者は小田原市観光協会によって設立されたNPO法人が運営します。これによってリンククを運転する者が必要となるため、小田原市内の雇用にもメリットがあります。

④小田原市内の観光へのリンクク利用案

小田原駅近くにリンククのセンターを設け、ここから市内観光の観光客を観光スポットに運びます。

⑤小田原市観光協会へのメリット

観光客を観光スポットまで運ぶ際、距離に関係なく、一定の料金を払ってもらい、これを小田原市観光協会への利益とします。一定の料金（500円を予定しています）にするのは、料金を明瞭にするためと、ワンコインで利用出来ることを観光客にアピールするためです。

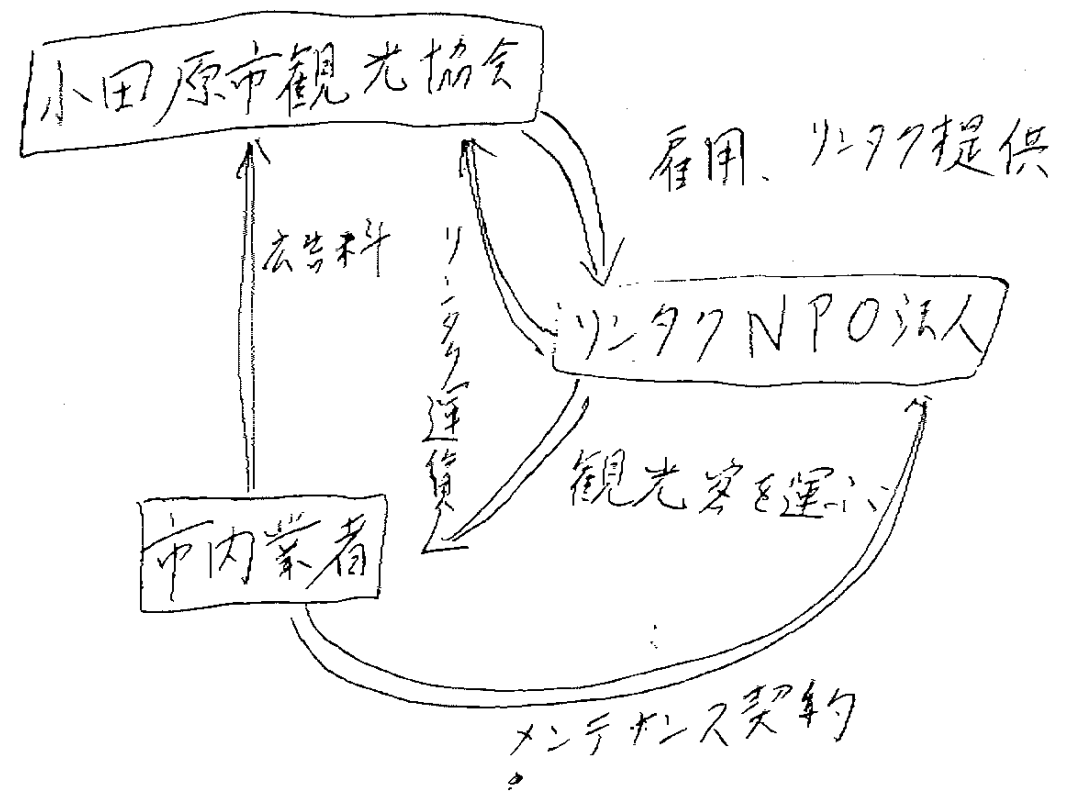
また、リンククには市内の業者に呼び掛け、市内の業者の広告を車体にデザインし、この広告料（5万円を予定しています）小田原市観光協会への収入することが出来ます。

⑥リンククの管理

リンククの管理は、全て運営者である小田原市観光協会によって設立されたNPO法人が行います。リンククにはGNPと無線を取り付け、現在位置を管理し、観光客への便宜を図ります。

リンククのメンテナンスはNPO法人と契約した小田原市内の自転車業者と契約し、メンテナンスを行なってもらいます。これによって小田原市内の自転車業者にも利益が見込まれます。

別紙①



別紙②

リンク図

